

令和4年度第2回越前町地域公共交通活性化協議会

日時：令和4年11月28日(月)
午前10時から
場所：越前町生涯学習センター2階

会 議 次 第

1. 開会

2. 協議事項
 - (1) 生活交通確保維持改善計画一次評価について 資料 No. 1
 - (2) 路線バス「鯖浦線（かれい崎）」、越前町コミュニティバス
「環状右回り、越前地区巡回」の運行ルート変更について 資料 No. 2
 - (3) コミュニティバス運行事業者の変更について 資料 No. 3

3. 報告事項
 - (1) チョイソコえちぜんの実績報告について 資料 No. 4

4. その他

5. 閉会

令和4年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

越前町地域公共交通活性化協議会

平成 2年 12月 18日 設置

令和 3年 1月 28日 越前町地域公共交通計画策定
(計画期間：令和3年4月～令和8年3月)

令和 3年 6月 25日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

令和 5年 1月 日 令和4年度評価結果送付

【越前町の概要】

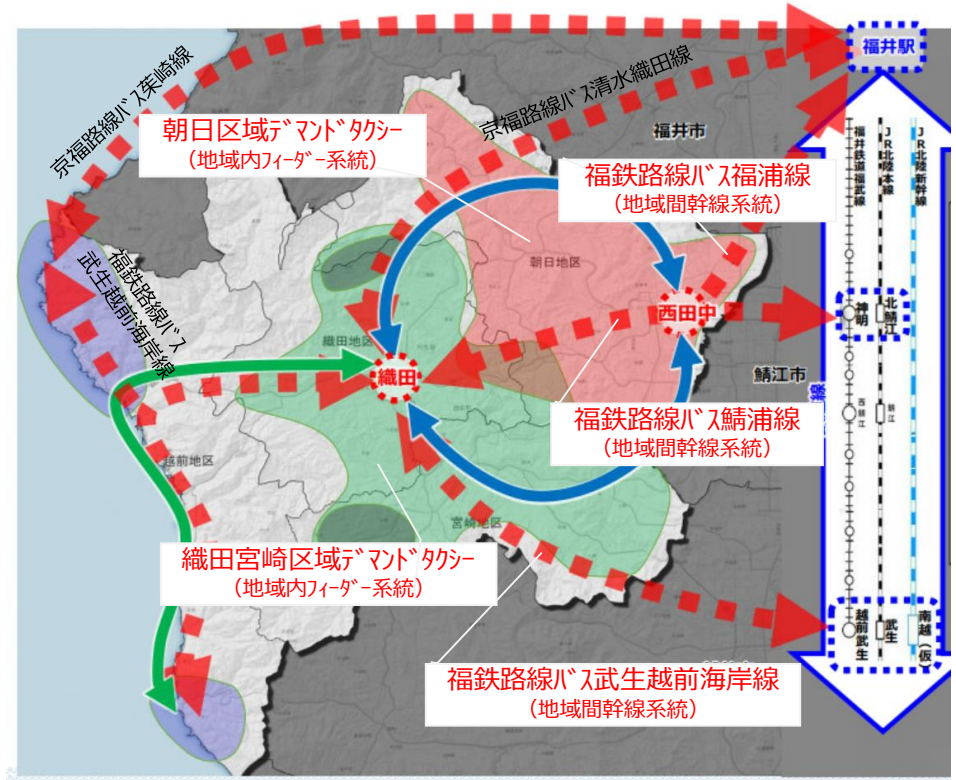
人口：20,464人（R4.4.1時点）

鉄道：軌道なし

路線バス：主要な幹線系統として、福浦線、鯖浦線、武生越前海岸線があり、本町からそれぞれ福井市、鯖江市、越前市方面に運行

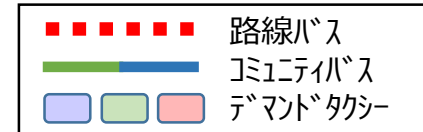
【計画策定の背景】

利用の少ないコミュニティバス路線の約半数を廃止し、代替手段としてデマンドタクシーを導入



越前町公共交通ネットワークイメージ図

越前町地域公共交通計画から引用



計画の基本方針

「皆で守り育てる公共交通ネットワークの形成」

目標1 町内外を移動できる公共交通のネットワーク化

目標2 誰もが利用しやすい環境づくり

目標3 行政と住民との協働による公共交通の活性化

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
★デマンドタクシー「チョイソコえちぜん」運行開始 (フィーダー補助受給系統)	利用が少ないコミュニティバスを廃止しデマンドタクシーを2区域で導入	運行開始から6ヶ月経過し、利用者は毎月10%程度増加の傾向で推移	無料運行などの実証実験を経てないためか、運行の仕組みについての認知度不足を痛感した
各種パンフレット発行配布	運行体系が大きく変わったため、バスマップとデマンドタクシー利用登録用紙配布	町内全戸10,000世帯に広報と同時配布 デマンドタクシー初期登録は48件	利用の少ない路線の廃止には大きな混乱はなかった
デマンドタクシー利用促進キャンペーン	8月～10月までの期間中に3回以上利用された方に商品券を進呈	41名の利用者が条件を満たした	始まって間もないデマンドタクシーに一度利用してもらうきっかけ作りとして効果があった
高齢者運賃補助事業	町内区間を運行する路線バスにコミュニティバスと同じ料金で乗車可能 料金差額は事業者に補助	乗車料金を等しくすることで、一方に利用者が偏ることがなくなった	料金が低額なコミュニティバスに利用者が偏らず、路線バスにも一定数乗ることで運賃収入が確保できている
通学支援補助事業	高校生が通学のために購入する路線バス定期券の購入補助	通学定期券購入者全員292名が制度活用 補助総額42,058千円	補助制度があることで、路線バス定期券を購入する方が多くみられ、運賃収入増に繋がっている

目標値の算出方法

越前町生活交通確保維持改善計画（令和3年11月）よりフィーダー系統の利用者目標は3,840人と設定

デマンドタクシー運行開始時に廃止したコミュニティバス路線（朝日巡回、宮崎巡回、織田巡回、朝日乗合い、織田乗合い）の利用者数を目標とした。令和2年度にデマンドタクシーへの転換を検討していたことから、令和元年度実績を目標に設定したが、令和元年度はコロナ禍前であり、目標値を高く設定しすぎたことで達成率が大きく下がることになった。

路線名 (期間R4.4~R4.9)	目標値 (利用者数) (運行回数)	実績値 (利用者数) (運行回数)	達成状況	達成率
朝日デマンドタクシー	1,920人 492便	236人 192便	未達成	12.3% 39.0%
宮崎織田デマンドタクシー	1,920人 492便	327人 297便	未達成	17.0% 60.4%

地域公共交通計画の目標に対する現在の到達状況

運行開始から6ヶ月経過し利用者数は毎月増加しているものの、目標を大きく下回っている。

到達状況を踏まえて、今後の取組の進め方の方針

デマンドタクシー利用者は8割以上が75歳以上の高齢者であるから、高齢者への地道な周知活動を引き続き行うことが有効と考え、健康診断会場、ワクチン接種会場など高齢者が集まる場所での活動を実施する。また利用することでお得が感じられる企画を実施し新規利用者を獲得する。

周知広報活動の一部



グランドゴルフ大会会場



ワクチン接種会場

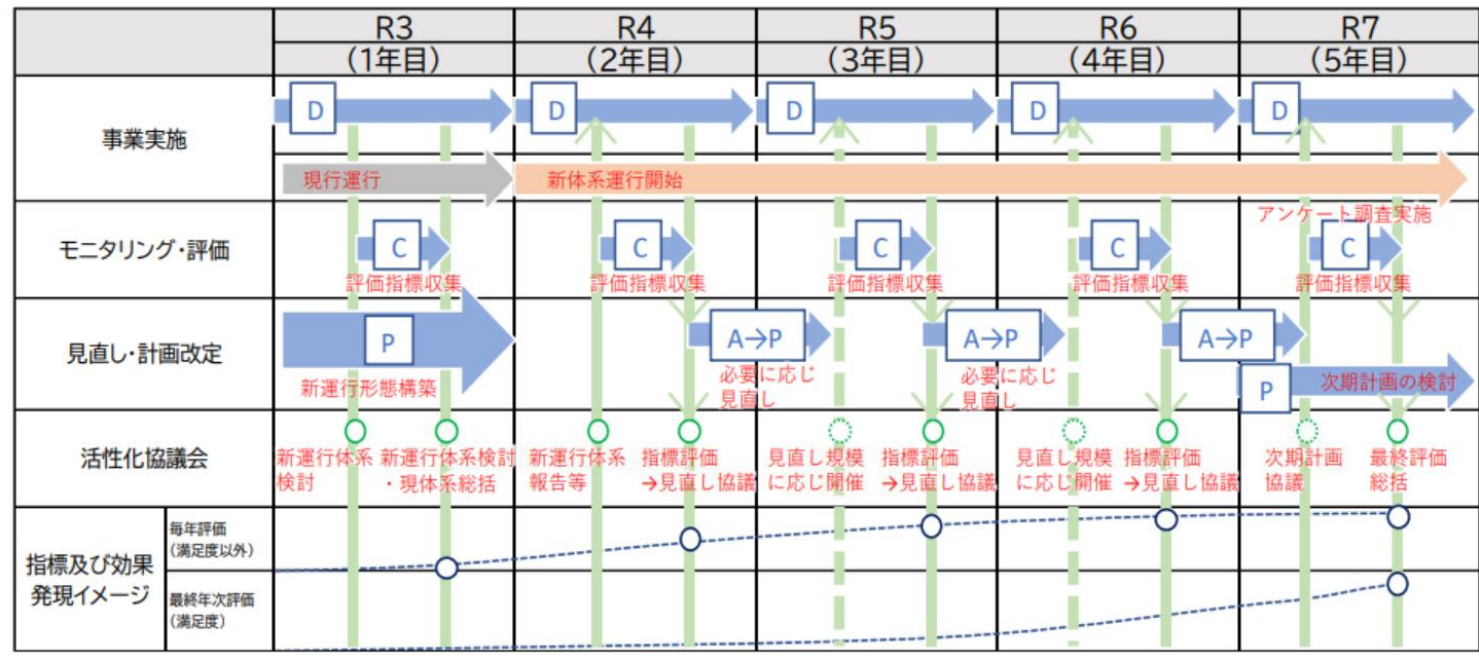


ハンドブック時刻表



キャンペーンチラシ

<進捗管理（PDCA サイクル）計画>



【協議会の実施状況】

令和3年度

第2回協議会 11月17日 主な協議：コミュニティバスの廃止、デマンドタクシー運行計画

令和4年度

第1回協議会 6月21日 主な協議：確保維持改善計画策定、路線バス運行ルート変更

第2回協議会 11月28日 主な協議：確保維持改善計画一次評価、路線バス運行ルート変更

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 4年11月28日

協議会名: 越前町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 朝日自動車(株)、(有)日の丸タクシー

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
朝日自動車株式会社	朝日デマンドタクシー		A タクシー事業者による運行、公共交通マップの作成、高齢者が利用する施設等での公共交通利用啓発活動を実施した。	B 計画運行回数492回、目標人数1,920人に対し、192回236人であった。 4月から運行開始したこともあり、周知の徹底を図ったが、主な利用者である高齢者に対する浸透が十分でなかった。	主な利用者である高齢者に対して、デマンドタクシーという新しい公共交通の仕組みについてより浸透を図るため、高齢者が集う場所にて赴き周知活動を実施する。リピーターに対しては電話より簡単にできるスマホからのWeb配車予約の利用促進を図る。
有限会社日の丸タクシー	宮崎織田デマンドタクシー		A タクシー事業者による運行、公共交通マップの作成、高齢者が利用する施設等での公共交通利用啓発活動を実施した。	B 計画運行回数492回、目標人数1,920人に対し、297回、327人であった。 4月から運行開始したこともあり、周知の徹底を図ったが、主な利用者である高齢者に対する浸透が十分でなかった。	主な利用者である高齢者に対して、デマンドタクシーという新しい公共交通の仕組みについてより浸透を図るため、高齢者が集う場所にて赴き周知活動を実施する。リピーターに対しては電話より簡単にできるスマホからのWeb配車予約の利用促進を図る。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 4年 11月 28日

協議会名:	越前町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持改善事業
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>越前町においては、越前町北部からJR福井駅方面に京福バス、越前町南西部からJR北鯖江駅・JR武生駅に福井鉄道バスが運行している。町内には鉄道駅がないため、民間の路線バスを幹線系統と位置づけ、それに接続するコミュニティバスで交通網が形成されている。路線バスは主に高校生の通学と高齢者の通院の広域移動に、コミュニティバスは主に高齢者の日常の移動に利用されている。</p> <p>しかしながら人口減少と高齢者の自動車免許保有率の高止まりにより、公共交通機関利用者数は減少を続け、路線バス、コミュニティバス事業の収支悪化による行政負担の増加で便数の減便を余儀なくされている状況である。そこでコミュニティバスに代えてデマンドタクシーの運行を開始し、利便向上と運行収支の改善を目指す。</p> <p>そのためには、地域公共交通確保維持事業により、地域間幹線ネットワークの拠点である西田中バスターミナル、織田バスターミナルと接続するフィーダー系統を確立し、住民の生活交通手段を維持存続させていく必要がある。</p>

- 1 変更日 令和5年4月1日（土）
- 2 変更理由 現在、バス車両がメルシ前バス停に停車するとき、車両が横断歩道の一部にかかっている。バス停車中に歩行者が横断歩道を渡る場合、バスの死角となり大変危険なことから、バス停車場をバス待合所メルシ側に変更するため。
- 3 変更内容
 - 運行ルートの変更に伴う路線の新設



- 運行ダイヤは変更なし
 - ・路線バス「福井鉄道鯖浦線（かれい崎）」
 - ・越前町コミュニティバス「環状右回り」
 - ・越前町コミュニティバス「越前地区巡回」

- 1 変更日 令和5年4月1日（土）
- 2 変更理由 越前町コミュニティバス環状ルート右回りを委託している京福バスから、令和5年度以降の運行業務を、下記の理由により契約期間満了をもって業務請負を辞退したい旨の申し出があったため。
- 3 辞退理由 慢性的な乗務員不足のため。
- 4 業者選定 新たな事業者が令和5年4月から運行するには、運行開始日までに路線運行の認可を受けなければならない。認可手続きには約3ヶ月を要するため、年内に運行事業者を決定する必要がある。
- 5 業務内容 令和4年度環状ルート右回りと同様。
- 6 路線図

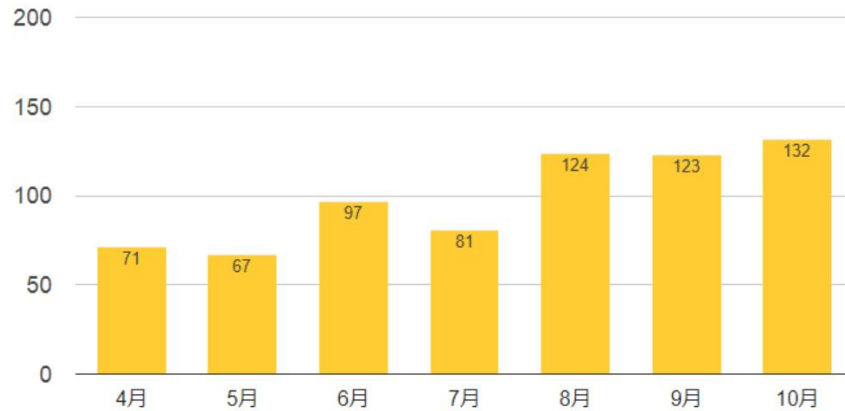


チョイソコえちぜん実績報告

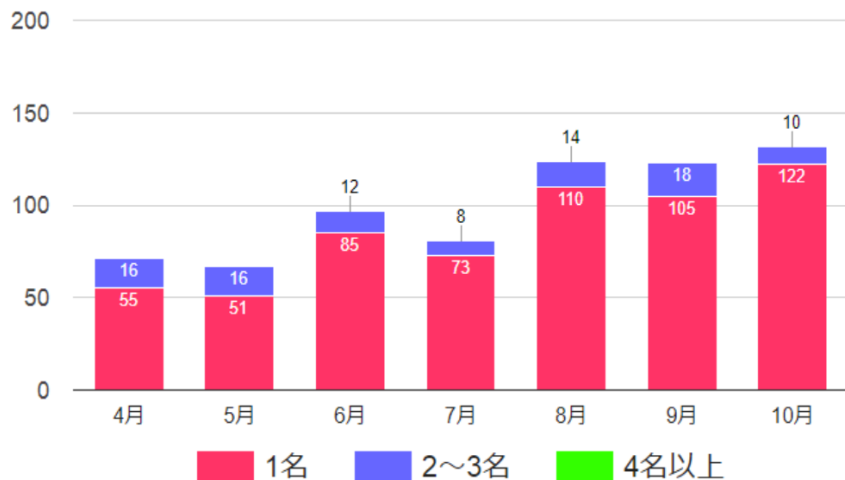


チヨイソコ実績 1

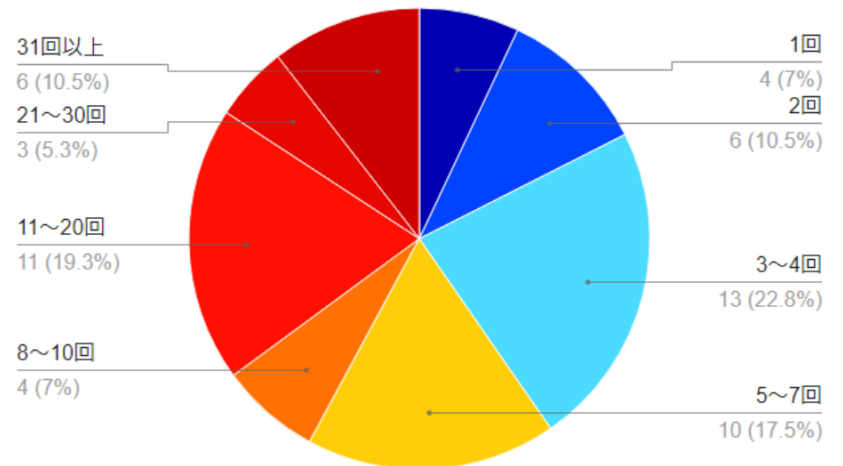
月別 予約件数



月別 予約件数 乗車人数別の内訳

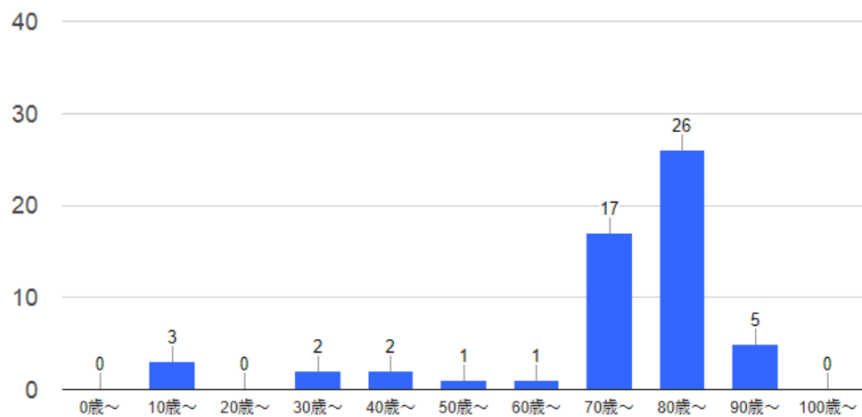


利用者一人当たりの予約件数割合

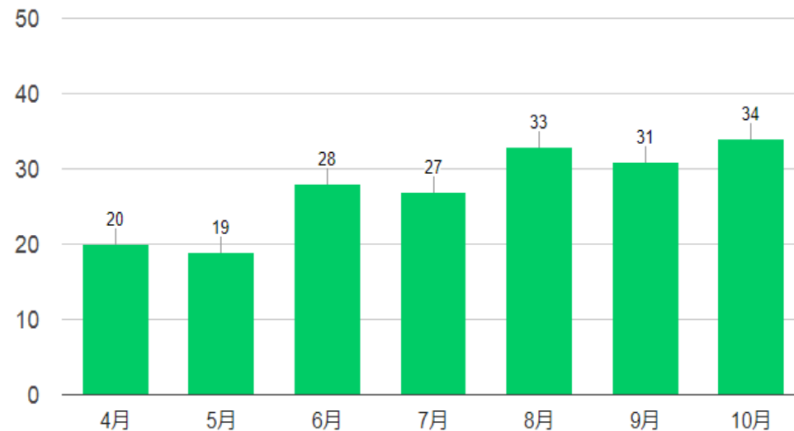


チヨイソコ実績 2

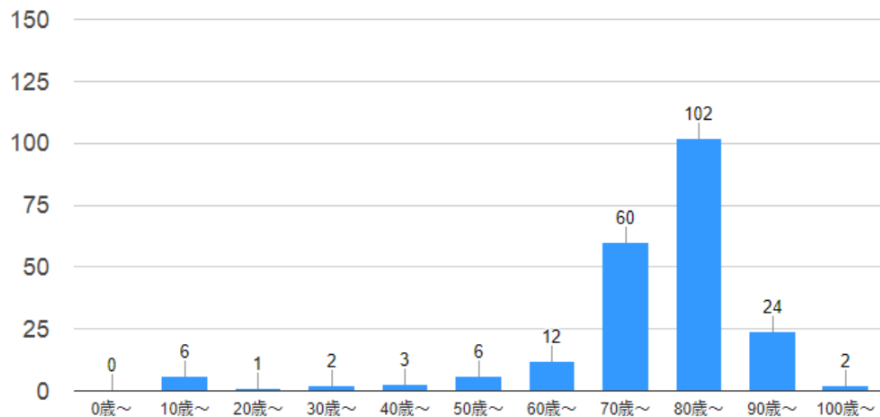
年代別 利用者数



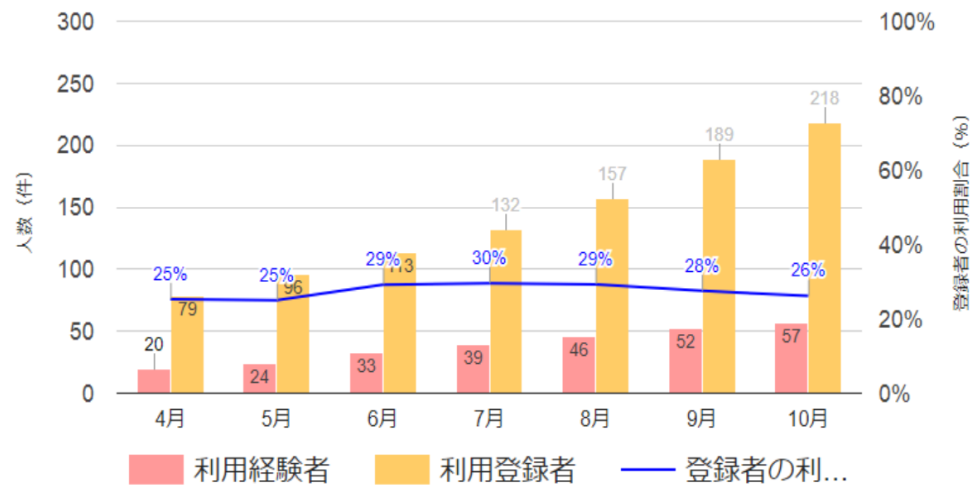
月別 利用人数



年代別 登録者数



登録者の利用割合



考察

広報と認知度

運行開始前広報として、町広報2月号に特集、3月号に折込、5月号の表紙には出発式、6月号には利用者の声を掲載した。周知活動する中でチョイソコの名前は聞くが詳しいことまでは分からないとの意見が多い。

キャンペーン実施

8月から10月までの3ヶ月間の間にチョイソコを3回以上利用された方に、3千円分の商品券を進呈するキャンペーンを実施した。結果41名の方が条件を満たし賞品を発送した。

利用者の特徴

利用者は70代後半から80代の高齢者が主で、そのうち女性が8割を占める。乗車区間は自宅と目的地の移動が基本で、目的地としては医療機関が2割、入浴施設が2割、バスターミナルが2割、スーパーが1割5分と公共施設が1割、その他が1割5分となっています。乗車は1人が基本で、夫婦、グループでの利用は2～3組にとどまる。

周知活動



ワクチン接種会場車両展示



グランドゴルフ大会車両展示



ワクチン接種会場（延べ8回）



健康診断会場（延べ5回）

設備他



自立式表示板



コミバス標識に貼付した表示板